

Linux Mint のインストールの方法

- 1 ルーターでインターネットにつながっている回線が必要です。
 - ルーターの設定は、Windowsで行いますので、WindowsPCは必要です。
- 2 PCには、インストールするドライブだけをつないでおきます。
 - 他のドライブ(SSD、HDD、USB機器)は必ず外しておきます。外し忘れたら取り返しがつきません。
専門家でないといずれもブートできなくなったり、読めなくなったりします。
 - ドライブは分割しないで、全部にインストールするのが無難です。分割はGpartedの所で説明しますが少し難しいかもしれません。
 - 他のドライブは、インストールが終わってから接続します。
- 3 インストールの前に、パスワードなどを決めておきます。(重要です)
 1. 「パスワード」:12文字以上にします。短いと回線から短時間でアクセスされてしまいます。
パスワードがあれば自分も、外出先からアクセスできることになります。
頻繁に長いパスワードを入力しなければならないので慎重に決めます。
 2. 「名前」:スペースなしの小文字のアルファベットのニックネームでいいと思います。
 3. 「コンピュータ名」:コマンドに出てきますので、スペースなしの小文字のアルファベットで短い方が使いやすいです。
 4. 「ユーザー名」:コマンドやフォルダ名に出てきますので、スペースなしの小文字のアルファベットで短い方が使いやすいです。
 5. ホームフォルダ名は、 homo/「ユーザー名」となり、
各フォルダのパスは、/homo/「ユーザー名」/Pictures などとなります。
コマンドの前のプロンプトは、「ユーザー名」@「コンピュータ名」~\$となります。
- 4 インストールの順序
 1. 接続機器を再確認します。
マウス、キーボード、スピーカー、ディスプレイ、LAN、電源コードなど、しっかり接続してあるか、抜けかかっているか確認します。
 2. DVDが汚れていないかゴミがついていないか確認します。汚れていたら新しく焼き直した方が確実です。
 3. PCが止まっているとDVDが入りませんので、先にF2またはDELキーなどでUEFI画面を出して、DVDを入れておきます。

新しいPCの場合は、UEFIのSATA Mode Selection がAHCHになっているかどうか確認します。デフォルトでIDE(昔の規格)になっている場合は、AHCI にしダブルクリックして確定し、最後にSAVEします。

4. PCを再起動します。
5. 起動したら、すぐに、Fキーを押して、デバイス選択画面(ブートメニュー画面)でストップさせます。FキーはPCのマザーボード(MB)によって、F8(Asus),F11(Asrock),F12(Gigabyte)など異なります。
6. 表示されているブートメニューから、DVDDを選びますが、通常は、DVDDにはノーマルと、UEFIの2種類が表示されています。わからなければ、ノーマルの方を選んで、インストールを進めます。UEFIはUEFIブートで専門知識が必要です。
7. 10分経つと黒画面になって見えなくなりますので時々マウスを動かします。
8. しばらくすると、Linux Mintの画面が出ますので、画面左側の丸いDVDのアイコンを、右クリック>Open でインストールを進めます。日本語の選択、空き容量、ネット接続の確認、とすすめます。
9. 途中で「アンマウントしますか」と聞かれたら、「はい」で進めます。普通は聞かれません。
10. 「インストールの種類」を聞かれたら、「ディスクを削除してインストール」(・・置き換える・・)で進めます。
*USBメモリにインストールする場合などで、SWAP領域を小さくする場合は、ここは一部変えた方がいいので、「それ以外」を選んで、後の方の説明の所に行きます。
11. 「どこに住んでいますか?」、「キーボードレイアウト」と進んで、
12. その後「あなたの情報入力」画面が出ます。一番重要な所です。
13. 予め決めておいた、名前、コンピュータ名、ユーザー名、を入力します。
Tabキーで次々に送っていきます。
14. パスワードを設定する時に、「自動的にログインする」にチェックします。(自宅用)
15. インストールが終わると、「今すぐ再起動」を押します。
16. すると、DVDが出てきて、黒い画面に英語が10行くらい出てきてストップしますので、Enterを押します。PCが止まらない場合は、スイッチを10秒間押し続けて終了させて、再起動します。
17. 再起動したら、すぐにF2またはDELキーなどでUEFI画面を出して、インストールしたドライブの順位を上げます。
18. UEFIの設定をSave(保存)して、起動をスタートさせます。

5 *USBメモリにインストールする場合の変更点

- USBメモリを使う場合は、デフォルトでとられるWSAP領域の4GBは無駄なので、1GBと小さくします。

実際のRAMの使用量は1GBから多くても3GBくらいで、RAMが4GB以上だと、SWAPは殆ど使われません。

インストール後の使用量は4.5GBくらいですが、空き容量が少なくなると面積当たりの書き換え回数が増えて、それだけ寿命が早く来ます。

なので、USBメモリの場合は、特に16GBの場合は、SWAPのサイズを小さくした方が寿命的にいいです。



- WSAP領域を指定する場合は、「インストールの種類」の所が変わります。
一番下の「それ以外」を選択して[続ける]をクリックします。
- 領域の画面になります。
一番上の(USBメモリの)パーティションの項目を選択し「新しいパーティションテーブル…」または「削除」をクリックしてから、
「空き領域」選択して、画面中央の[+: 追加]ボタンをクリックします。
- 「パーティションの作成」画面で「基本パーティション」を選択します。
パーティションのサイズは、表示されているサイズから1GBを引いたものにします。
新しいパーティションの場所はそのままの[この領域の始点: 先頭]にしておきます。
利用方法は[ext4]とし、マウントポイントは[/]を選択し、[OK]をクリックします。
- 領域の画面になります。
[空き領域]を選択して、画面中央の[+: 追加]をクリックします。
- 「パーティションの作成」画面で「論理パーティション」を選択します。
スワップ領域のサイズは、残りのままにします。
新しいパーティションの場所はそのままの[この領域の始点: 先頭]にしておきます。残っている空き領域の先頭という意味です。
利用方法は[スワップ領域]とし、[OK]をクリックします。
- 領域の画面になります。
「ブートローダをインストールするデバイス」は、USBメモリ(全体)を選びます。(その中のパーティションは選びません。普通は全体が表示されています。)
最初の所で、他のドライブは全て外してあるはずですが、他のドライブを選ぶと両方動かなくなったりします。
画面下の[インストール]をクリックします。
- ここから、「どこに住んでいますか?」の画面になります。